



大好き かたびら

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

横浜市立帷子小学校
学校だよりNo.8 12月号
令和5年11月30日
横浜市保土ヶ谷区
川辺町65-1
TEL045-335-5896

『関わりの中で学び成長する』

校長 梅田 佳美

秋があっという間に過ぎ、冬の訪れが突然やって来た感じがします。運動会では、保護者の皆様、地域の皆様、多くの方に応援していただきありがとうございました。

今年の運動会は勝敗を競う形で行われました。体育の学習の中で勝敗を受け入れるということも大切な学習として位置づけられています。競争の中で身に付けるべきこともあります。今回の運動会では、一人ひとりが自分の力を出し切り勝敗にもこだわり力いっぱい頑張る姿が見られました。勝った時は大いに喜び、負けた時には悔しがり次につなげていくことが大切です。一方で勝敗より厚い友情も見られました。6年生の100m走で転倒した友だちとともにゴールする姿には、その時自分がどうしたいか瞬時に考え対応した素晴らしい姿がありました。また競争と同時に一人ひとりの表現も大切にしました。曲に合わせてリズムに乗って踊る中に個性もあり学年全体のまとまり感もあり、どの学年も素敵に演技を披露してくれました。短距離走も団体演技も団体競技も一人ではめあてを達成できません。集団の中で関わり合って成し遂げられる学びです。

12月は「かるがもコンサート」が予定されています。今年は1・3・5年生、2・4・6年生の二部構成での発表が行われる予定です。

コンサート前日の15日には全学年が集い発表をします。全学年の発表に参加することで子どもたちは、上の学年になるとこんなことができるようになるのだなと感じたり、下の学年の演奏を聴いて自分の成長に気付いたりして、来年の目標をもちます。

学校という多くの児童と一緒に生活する集団では、時には考えの違う友だちとぶつかったり嫌なことを言われて傷ついたり、自分の思い通りにならないこともあります。しかし、その経験を乗り越えた時に得るものは大きいと思います。今回のコンサートでも自分がやりたかった楽器が必ずしもできているとは限りません。自分の思い通りにはいかない時にどうやって気持ちと折り合いをつけ、次に進んでいくか。これはとても大切な経験になります。多くの経験が人を成長させます。傷つき落ち込んで帰って来ることもあるかもしれません。そんな時はぜひ話を聞いてあげてください。話をすることで自分に折り合いをつけて次に向けてチャレンジしていきます。「かるがもコンサート」では、友だちと気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする姿を大切にしていきます。